

令和2年10月1日

お知らせ

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
内容が変更になる場合があります。

京都市文化市民局
〔担当 元離宮二条城事務所〕
〔TEL 841-0096〕

「二条城障壁画 展示收藏館」原画公開 令和2年度第3期

秋の景物 ～ 〈白書院〉^{しろしょいん} 障壁画選 ～

元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示收藏館」において、年4期にわたり二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を公開しております。この度、第3期原画公開「秋の景物 ～ 〈白書院〉障壁画選～」の開催について詳細が決まりましたので、お知らせします。今回は、〈白書院〉障壁画から、御殿では御覧いただけない帳台の間の《秋草図》など、秋の景物を描いた場面を選びすぐって展示します。

是非、この機会に二条城へお越しく下さい。

1 会期

令和2年10月8日（木）～12月6日（日）〔60日間〕

2 入館時間

午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分） ※二条城の入城受付は、午後4時まで。

3 会場

元離宮二条城内 二条城障壁画 展示收藏館
（京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

※二条城にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

4 入館料

100円（未就学児無料）

※別途入城料が必要。

※市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方については、入館料を徴収しません。

5 公開作品

- (1) 〈白書院〉二の間障壁画《西湖図（せいこず）》
〈白書院〉三の間障壁画《山水人物図（さんすいじんぶつず）》
〈白書院〉帳台の間障壁画《秋草図》（障壁画面数：31面）
- (2) 解説及び見所 裏面のとおり

6 お問い合わせ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〔〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地〕
〔TEL：(075) 841-0096 FAX：(075) 802-6181〕

秋の景物 ～ 〈白書院〉 障壁画選 ～

二条城二の丸御殿の最も奥に位置する〈白書院〉は、江戸時代には「御座の間」と呼ばれ、将軍が居室として使用したところです。〈白書院〉の一の間から三の間の障壁画は、水墨画に部分的な着色が施された墨画淡彩という技法で、山水人物が描かれており、〈遠侍〉から〈黒書院〉を彩る金碧障壁画とは対照的に、落ち着いた印象を与えています。今回は、二の間と三の間の障壁画の中から、秋の景物が描かれた場面と、帳台の間に描かれた《秋草図》を公開します。

二の間は、一の間と共通して《西湖図》という画題だと伝わっています。一の間と二の間を見ると、狩野派で蓄積されてきた西湖図の粉本から取り出した山水の図様と、西湖図以外の山水図の図様を組み合わせ作り上げられています。今回展示する二の間の西側は、岩山の上の楼閣に向かう人物が描きこまれています。山水の一部を構成する樹木や植物が、紅葉し、落葉しているところから、秋の景色であることが分かります。

《西湖図》よりも、人物がやや大きく描かれる三の間《山水人物図》からは、南側と西側の壁面を展示します。西側には四睡図と驢馬に乗る高士らが見られますが、その背景には、落雁や枯れた水辺の芦といった秋を示すモチーフが描きこまれています。

〈白書院〉の上段の間である一の間には、〈大広間〉や〈黒書院〉と同様に、豪華な飾金物の付いた漆の枠に房の付いた襖が嵌まる帳台構があり、その奥には帳台の間があります。〈白書院〉の帳台の間は、六畳ほどの小さな空間ですが、長押の下の壁面には、柴垣に萩や桔梗が、長押の上の壁面には、石竹や紫苑が描かれています。御殿では御覧いただけない帳台の間の内部に描かれた可憐な秋の草花を、この機会に間近から御鑑賞ください。



〈白書院〉 三の間障壁画《山水人物図》部分



〈白書院〉 帳台の間障壁画《秋草図》部分